



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 4463 URL <https://www.nicca.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年12月期第3四半期 | 37,453 | △2.0 | 1,329 | △42.6 | 1,816 | △38.0 | 1,018 | △45.6 |
| 2022年12月期第3四半期 | 38,233 | — | 2,315 | — | 2,929 | — | 1,871 | — |

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 2,726百万円 (△32.1%) 2022年12月期第3四半期 4,015百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期第3四半期 | 64.46 | — |
| 2022年12月期第3四半期 | 118.69 | — |

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年12月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年12月期第3四半期 | 57,276 | 32,500 | 52.1 | 1,887.83 |
| 2022年12月期 | 56,122 | 30,392 | 49.8 | 1,771.74 |

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 29,837百万円 2022年12月期 27,960百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | — | 11.00 | — | 19.00 | 30.00 |
| 2023年12月期 | — | 16.00 | — | — | — |
| 2023年12月期（予想） | — | — | — | 16.00 | 32.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 51,000 | 0.7 | 2,100 | △20.1 | 2,400 | △23.4 | 1,300 | △38.5 | 82.34 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年12月期3Q | 17,710,000株 | 2022年12月期 | 17,710,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年12月期3Q | 1,905,013株 | 2022年12月期 | 1,928,421株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年12月期3Q | 15,792,293株 | 2022年12月期3Q | 15,770,179株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）における世界経済は、ロシア・ウクライナによる紛争が継続していることによるエネルギー価格の高止まりや物価上昇、金融資本市場の変動等、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、わが国経済は、新型コロナウイルスの第5類への移行とアフターコロナへの対応が進展し、以前の日常を取り戻しつつあり、経済環境には持ち直しの兆候も見受けられますが、為替相場において依然として円安傾向にあること等により原材料や光熱費が高騰し、国内における経営環境は厳しい状況となっております。

このような中、当社グループは中期経営計画のスタートにあたり、この先20年、30年という長期スパンで何を指していくのかを考え、企業パーパスを「Activate Your Life」と決めました。「Activate Your Life」とは、ステークホルダーとともに、無限に広がる界面カガクのチカラで様々な社会課題を解決し、より豊かな暮らしや輝く未来に貢献することです。この企業パーパスに基づき、中長期成長ビジョンとして『世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー』を掲げ、3か年中期経営計画『INNOVATION25』（2023-2025）を策定し、現在、中期経営計画の5大戦略である「事業構造の大転換」「メリハリのある投資」「生産性改革」「サステナブル経営の推進」「大家族主義の進化」の推進に取り組んでいるところであります。

今後も激変していく経営環境をビジネスチャンスへと昇華し、社会からますます必要とされる価値を提供する事業に注力し永続的成長を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は37,453百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益1,329百万円（前年同期比42.6%減）、経常利益1,816百万円（前年同期比38.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,018百万円（前年同期比45.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

（化学品事業）

売上高は26,355百万円（前年同期比4.3%減）、セグメント利益は1,054百万円（前年同期比32.5%減）となりました。

繊維市場における欧米アパレルの在庫調整並びにコロナ急拡大に伴う中国の稼働率低下、半導体市場不況など上期の影響が大きく、アパレル市場の一部や中国の回復、新規ビジネス獲得などがありましたが、減収減益となりました。

（化粧品事業）

売上高は10,697百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は1,573百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

当社デミコスメティクスにおいては、美容サロンの来店客数減による市況悪化の影響を受けたものの、新ブランドの拡販等により堅調に推移いたしました。連結子会社においては、DEMI KOREA CO., LTD. における販売や山田製薬株式会社における受託事業は好調に推移いたしました。一方で、デミコスメティクスでの戦略的なプロモーション投資等により利益は減少しました。

（その他）

売上高は400百万円（前年同期比50.1%減）、セグメント利益は50百万円（前年同期比24.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、1,153百万円増加し57,276百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1,479百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が710百万円増加した一方、原材料及び貯蔵品が701百万円、商品及び製品が326百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、953百万円減少し24,775百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が505百万円、賞与引当金が292百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、2,107百万円増加し32,500百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が1,371百万円、利益剰余金が465百万円、非支配株主持分が231百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月28日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|----------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,052 | 8,532 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 10,435 | 11,145 |
| 商品及び製品 | 6,093 | 5,766 |
| 仕掛品 | 949 | 956 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,363 | 3,662 |
| その他 | 962 | 1,337 |
| 貸倒引当金 | △1 | △0 |
| 流動資産合計 | 29,855 | 31,400 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 13,147 | 13,040 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 3,004 | 2,770 |
| 土地 | 5,352 | 5,454 |
| その他（純額） | 907 | 899 |
| 有形固定資産合計 | 22,411 | 22,164 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 399 | 372 |
| 無形固定資産合計 | 399 | 372 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 3,461 | 3,340 |
| 貸倒引当金 | △5 | △1 |
| 投資その他の資産合計 | 3,455 | 3,338 |
| 固定資産合計 | 26,266 | 25,875 |
| 資産合計 | 56,122 | 57,276 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,544 | 6,038 |
| 短期借入金 | 4,300 | 4,925 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 868 | 1,543 |
| 未払法人税等 | 481 | 269 |
| 賞与引当金 | 788 | 495 |
| 役員賞与引当金 | 17 | 13 |
| その他 | 2,987 | 3,142 |
| 流動負債合計 | 15,987 | 16,427 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,170 | 3,694 |
| 退職給付に係る負債 | 3,368 | 3,431 |
| 株式報酬引当金 | 160 | 172 |
| その他 | 1,043 | 1,050 |
| 固定負債合計 | 9,742 | 8,347 |
| 負債合計 | 25,729 | 24,775 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,898 | 2,898 |
| 資本剰余金 | 2,951 | 2,951 |
| 利益剰余金 | 21,006 | 21,471 |
| 自己株式 | △1,449 | △1,429 |
| 株主資本合計 | 25,407 | 25,892 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 558 | 547 |
| 為替換算調整勘定 | 2,194 | 3,565 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △199 | △168 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,553 | 3,944 |
| 非支配株主持分 | 2,432 | 2,663 |
| 純資産合計 | 30,392 | 32,500 |
| 負債純資産合計 | 56,122 | 57,276 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 38,233 | 37,453 |
| 売上原価 | 25,889 | 25,420 |
| 売上総利益 | 12,343 | 12,033 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,027 | 10,703 |
| 営業利益 | 2,315 | 1,329 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 23 | 38 |
| 受取配当金 | 17 | 20 |
| 持分法による投資利益 | 63 | — |
| 為替差益 | 289 | 89 |
| 補助金収入 | 3 | 138 |
| その他 | 247 | 234 |
| 営業外収益合計 | 647 | 522 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 27 | 23 |
| 持分法による投資損失 | — | 1 |
| その他 | 6 | 11 |
| 営業外費用合計 | 33 | 35 |
| 経常利益 | 2,929 | 1,816 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 22 | 4 |
| 補助金収入 | 124 | — |
| 特別利益合計 | 146 | 4 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1 | 2 |
| 固定資産売却損 | 0 | 0 |
| 投資有価証券評価損 | 27 | 0 |
| 特別損失合計 | 28 | 3 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,046 | 1,817 |
| 法人税等 | 1,063 | 677 |
| 四半期純利益 | 1,983 | 1,139 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 111 | 121 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,871 | 1,018 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,983 | 1,139 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △155 | △11 |
| 為替換算調整勘定 | 2,147 | 1,566 |
| 退職給付に係る調整額 | 39 | 31 |
| その他の包括利益合計 | 2,031 | 1,586 |
| 四半期包括利益 | 4,015 | 2,726 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,634 | 2,408 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 380 | 317 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他（注） | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|--------|--------|--------|
| | 化学品 | 化粧品 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 27,528 | 9,902 | 37,430 | 803 | 38,233 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 1 | 1 | 126 | 127 |
| 計 | 27,528 | 9,903 | 37,431 | 929 | 38,360 |
| セグメント利益 | 1,562 | 2,008 | 3,571 | 67 | 3,638 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 3,571 |
| 「その他」の区分の利益 | 67 |
| セグメント間取引消去 | 44 |
| 全社費用（注） | △1,367 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 2,315 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他（注） | 合計 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------|--------|
| | 化学品 | 化粧品 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 26,355 | 10,697 | 37,053 | 400 | 37,453 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 1 | 1 | 153 | 154 |
| 計 | 26,355 | 10,698 | 37,054 | 553 | 37,608 |
| セグメント利益 | 1,054 | 1,573 | 2,627 | 50 | 2,678 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 2,627 |
| 「その他」の区分の利益 | 50 |
| セグメント間取引消去 | 12 |
| 全社費用（注） | △1,361 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,329 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。